

川北町立学校施設の耐震化の状況・学校別一覧

平成27年10月1日：現在

学校名	棟用途	棟		建築年月	構造	階数	面積	区分	第2次診断			改修状況	耐震補強工事			備考
		番号	枝番						年度	Is値	CT×SD値 (q値)		改修年月	Is値	CT×SD値 (q値)	
中島小学校	屋内運動場	013	1	S52年12月	S	1	556	旧基準	H18年	0.18	(0.58)	改修済み	H20年9月	0.86	(1.56)	
	校舎(西)	014	1	S54年1月	R C	3	462	旧基準	H18年	0.46	0.46	改修済み	H20年9月	0.77	0.78	
	校舎(東)	014	2	S55年3月	R C	3	1,202	旧基準	H18年	0.46	0.46	改修済み	H20年9月	0.77	0.78	
川北小学校	校舎	013		S52年3月	R C	3	1,702	旧基準	H18年	0.46	0.48	改修済み	H20年12月	0.78	0.81	
	屋内運動場	019		S60年3月	R C	2	561	新基準	—	—	—	—	—	—	—	
	多目的教室	020		H6年2月	R C	1	123	新基準	—	—	—	—	—	—	—	
	特別教室棟	023		H17年2月	R C	3	762	新基準	—	—	—	—	—	—	—	
	校舎	024		H20年12月	R C	2	429	新基準	—	—	—	—	—	—	—	
橘小学校	校舎(西)	001	1	S47年3月	R C	3	830	旧基準	H18年	0.37	0.38	改修済み	H20年9月	0.72	0.75	
	校舎(中)	001	2	S48年2月	R C	3	595	旧基準	H18年	0.37	0.38	改修済み	H20年9月	0.72	0.75	
	校舎(東)	001	3	S48年2月	R C	3	279	旧基準	H18年	0.37	0.38	改修済み	H20年9月	0.72	0.75	
	屋内運動場	008		S54年3月	R C	2	997	旧基準	H18年	0.14	—	改修済み	H27年10月	0.71	(1.28)	
川北中学校	校舎(西)	006	1	S49年3月	R C	3	1,374	旧基準	H18年	0.41	0.43	改修済み	H21年9月	0.73	0.76	
	校舎(東)	006	2	S50年3月	R C	3	880	旧基準	H18年	0.41	0.43	改修済み	H21年9月	0.73	0.76	
	特別教室棟	008	1	H4年3月	R C	2	402	新基準	—	—	—	—	—	—	—	
	屋内運動場	008	2	H4年3月	R C	2	603	新基準	—	—	—	—	—	—	—	
	連携施設	008	3	H4年3月	R C	2	204	新基準	—	—	—	—	—	—	—	
	屋内運動場	008	4	H4年3月	R C	2	482	新基準	—	—	—	—	—	—	—	

<用語の解説>

- 「構造」欄に「R C」とあるのは鉄筋コンクリート造を、「S」とあるのは鉄骨造をいいます。
- 「区分」欄に「旧基準」とあるのは新耐震基準施行(昭和56年)以前に建築されたものを、「新基準」とあるのは新耐震基準施行後に建築されたものをいいます。
- (1)「新基準」との表示のあるものは、耐震性がありますので「区分」欄から右の各欄は、すべて「—」となっています。
 (2)「旧基準」との表示のあるもののうち、改修済みのものについては、「改修状況」欄に「改修済み」と記載した上で、「改修年月」及び「改修後」の「Is値」及び「CT×SD値(q値)」(後述)をそれぞれの欄に掲げてあります。
- (1)「Is」(構造耐震指標)は、建築物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。
 国土交通省告示等によれば、第2次診断等により算定したIs値が0.6以上の場合は、耐震性がある建物ということになります。
 (2)「CT×SD」とは、建物にある程度の強度を確認する目的の形状(SD)や累積強度(CT)の指標に関する判定基準です。0.35以上が安全とされます。
 (3)「q」(保有水平耐力に係る指標)は、地震による水平方向の力に対して建物が対応する強さを表すもので、その値が大きいほどよく、1.0以上が目標値とされています。